

平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 成果報告書

実施団体名

柏市

事業名称

女性の出産・育児・就業支援システム

1. 事業実施概要

柏市北部地域において、主に女性（その家族、男性も含む）のためのポータルサイトを運営し、出産・育児・就業について同じような悩みを持つ女性をつなぎ、情報交換やコミュニティ形成の場を提供する。

また、同サイトにおいて、働く女性と地域のサポーターをつなぐマッチングサービス、学校・母親・子供をつなぐコミュニケーションサービス、生活者の見守りサービスを提供する。

2. 目標の進捗状況

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
ポータルサイト登録者数	北部地域の20～49歳の女性数の5%以上	あいあい広場会員数161人	×	システム管理機能より計測
マッチングシステム利用者数	関係するサービス利用者数の5%以上	送迎・あずかり支援サービス利用者数19名、うちマッチングシステム利用者数14名	△	実証実験実施状況より
コミュニケーション機能利用頻度	週1回以上	参加者平均約1.6日/週	○	実証実験終了後の利用頻度を問うアンケート結果より算出
サイト利用の満足度	平均3.0以上	ポータルサイト会員の平均3.4 (4段階評価を5段階評価に換算)	○	実証実験終了後の会員を対象としたアンケート結果より算出
見守りシステムの満足度	—	97%が継続意向	—	実証実験終了後のアンケート結果より算出

3. 達成状況が△又は×の場合はその理由

・ポータルサイトについては、アクセスログの結果より、会員数より多くの人が閲覧していたと考えられる。しかしポータルサイトは会員以外でも閲覧可能であり、様子を見て会員登録をするという人が多かったことが、会員登録までする人が少なかった一因と考えられる。

・ポータルサイト会員の5%以上に送迎・あずかり支援サービスを利用してもらうことができた。ただし、システムの体験にとどまったため、△とした。

<委託業務説明書>

1 平成21年度事業実施において明らかとなった課題

4システムの実験モニターからは、今回実証実験で行われた個別サービス・システムの有効性に対する評価が得られたほか、親子間、学校・家庭間、地域住民間の情報交換やコミュニケーションの促進効果、安心感を高める効果といったサービスの直接的な効果、子育て経験の共有や情報提供意識を高めるといった二次的な効果があることが明らかになった。一方で、以下の課題も明らかになった。

1点目は、初期設定の猥雑さやインターネット環境や無線／有線LAN環境が原因となりサービスを利用できないモニター・施設があったこと、システム操作そのものの使いづらさが原因でサービスの利用頻度が低下してしまったモニターがいたことである。子育て支援サービスは、インターネット環境が整わない地域・家庭での利用も多く見込まれることから、どのような環境でも利用できるようシステムの汎用性を高める工夫が必要である。

2点目は、セキュリティ面の周知不足である。今回セキュリティの高いシステムを導入したものの、ユーザーからは依然システムの安全性に対する不安の声が聞かれた。子どもに係わるサービスは特にセキュリティ面での配慮が求められることから、安全性を確保しつつ、それをどうユーザーに周知し、安心感を持って利用してもらうかが課題とある。

3点目は、運営体制の強化である。実証期間が短かったこともあり、運用体制を整えきれず提供できなかったサービスがあったり、詳細を詰め切れずユーザビリティが低いままサービスインをしてしまったサービスがあった。また、ポータルサイトの運営には地元住民に運営に参画いただいたが、十分な情報提供や管理ができず、一部投稿があまりできない参加者がいたなど彼らを活かしきれなかったのも反省である。一方で、今後地域に普及させていくキーマンとなる、地域活動の主催者や意欲のある住民の方々とのネットワークが構築できたのは財産となる。今後のサービスの普及と提供する情報の充実には人材の確保が必須であることから、今回つながったネットワークを活かし、さらに地域人材を巻き込み、育成していくことが重要となる。

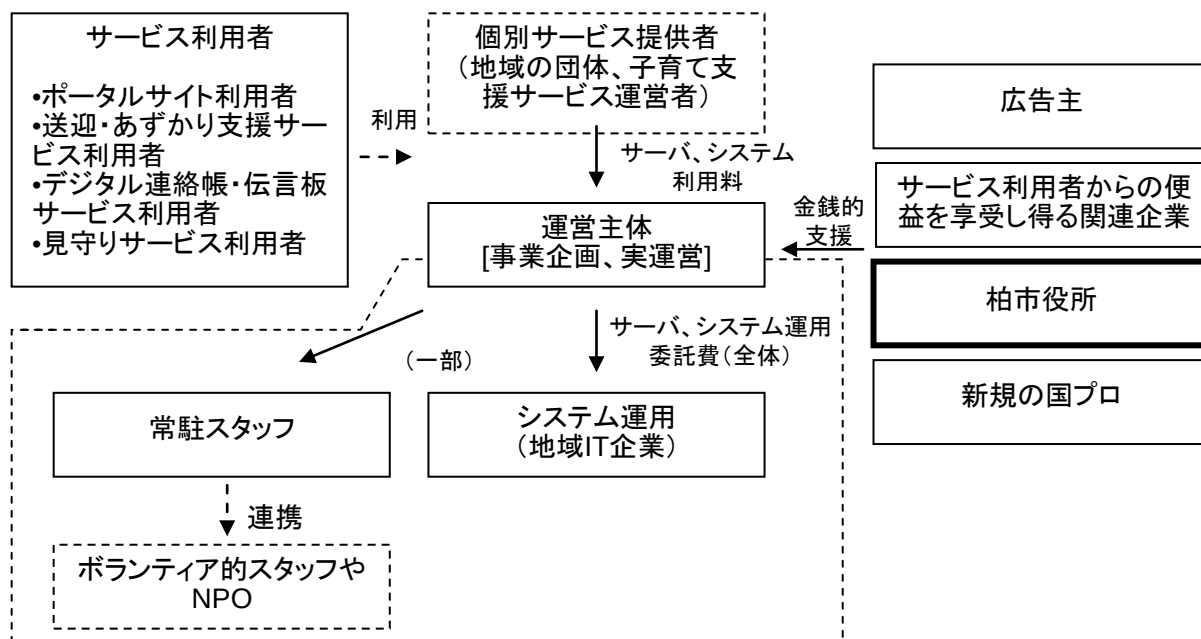
4点目は、対象者設定の精査とニーズに応じたサービス提供の徹底である。計画していたモニター対象者の参画が難しく、当初想定していた実験内容が完遂できなかったシステムがあった。急遽対象を拡大して検証を行ったことで、新たなユーザー層のニーズの掘り起こしをすることができたのは、ケガの功名だったと言える。しかし、当初からの的確なモニター設定をしていればもう少し有用な実証結果が得られたと言え、利用者のニーズ確認と対象者（ターゲット）設定について、改めて精査する必要がある。

2 自律的・継続的運営の見込み

現時点は、今回の実証実験に対する①利用者評価、②今後の運営に向けた課題、③来年度以降のサービス運営・システム運用に関する概算費用 等が関係者に具体的に理解された段階である。

今後の自律的・継続的運営については、ポータルサイトは継続的に運営、その他3つの子育て支援サービスについては、本年度事業の成果を踏まえて、継続の有無及びシステム・サービスの改善の検討を行う予定である。運営主体は引き続き柏市となり、具体的な検討には、現・運営委員会を継続するほか、本年度ポータルサイトの運営に協力いただいた地域住民からの運営協力メンバーの協力も得つつ、事業を進めていくことを想定している。

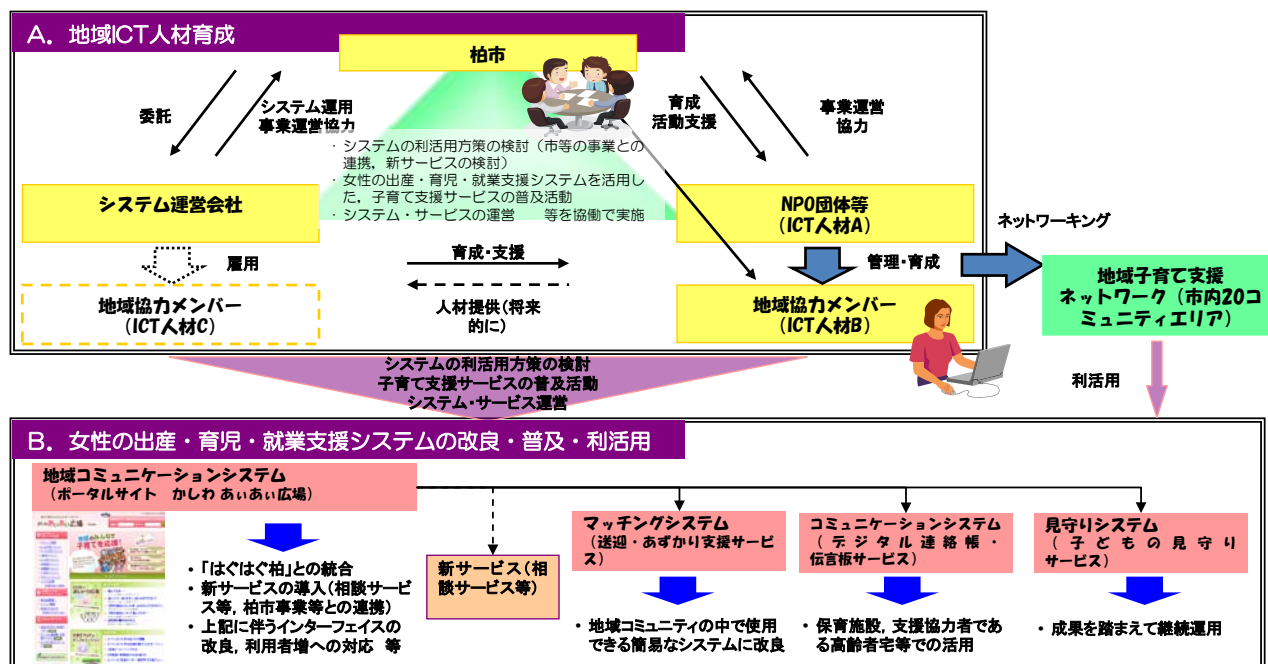
自律的・継続的運営で目指す体制・役割分担



3 今後の展開方針

今後は、成果確認で明らかになったシステム面・運営面での課題を精査し、システム改良を実施しつつ、システム活用担い手となる地域人材の育成に取り組むことを予定している。

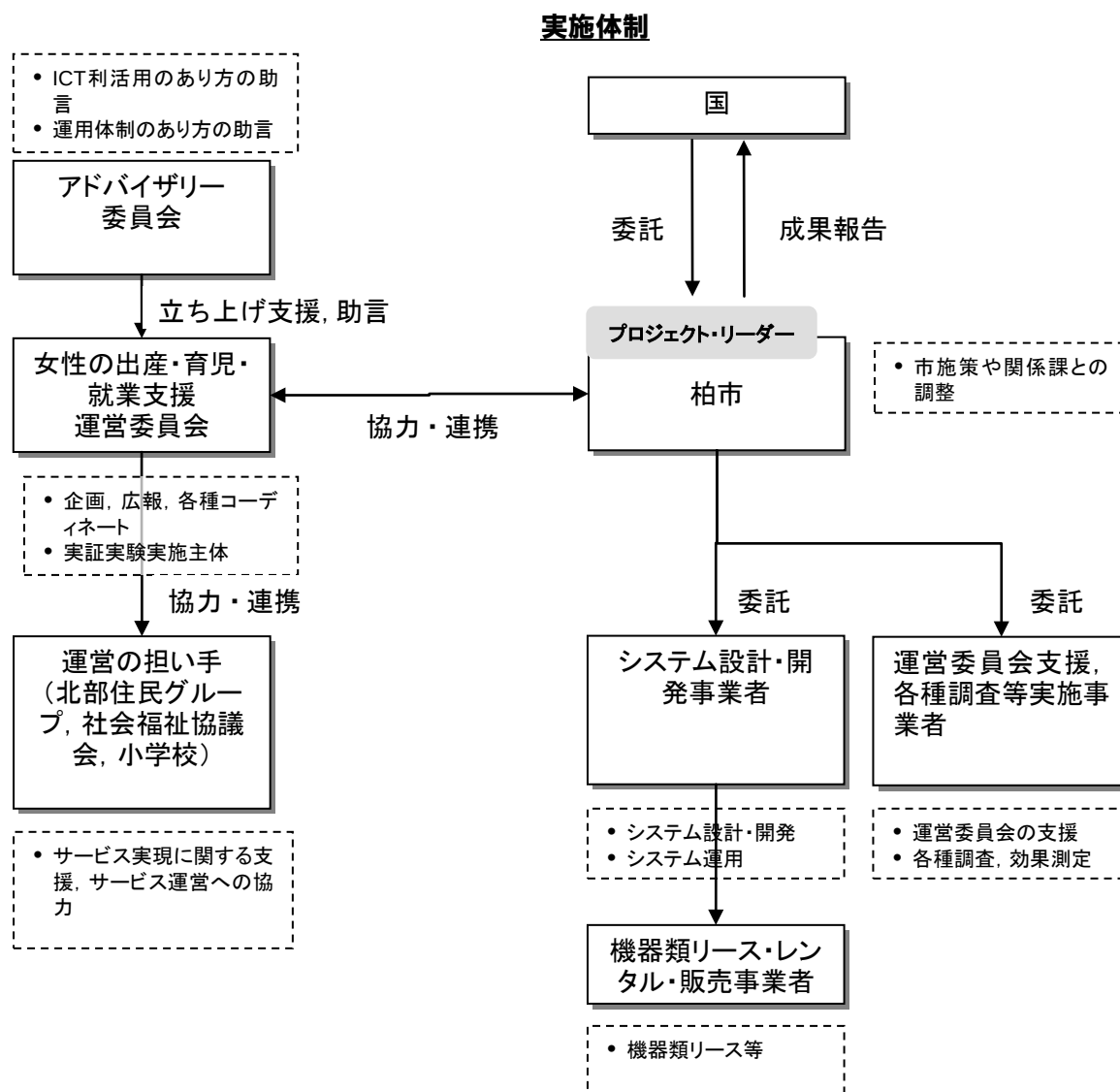
本システムは、現在、主に市北部地域に限定し稼働しているが、最終的には市内全域に拡大する必要があるものと考えている。そのために、柏市の20のコミュニティエリアを活かし、地域のNPO団体等との連携によって、人材育成やシステム・サービスの普及活動を推進する。当該システムを利用し、地域住民と協力しながら、顔の見える関係によって地域コミュニティの活性化・再生を目指す。



<実施体制説明書>

1 実施体制

柏市にプロジェクト・リーダーを置き、プロジェクト全体のマネジメント、市施策・事業との連携を図る。情報通信システムの企画は、アドバイザー委員会の助言を得ながら、女性の出産・育児・就業支援システム運営委員会が担う。将来は、運営委員会及び運営の担い手により設立された、「地域の運営組織」が独立採算で自立運営することを目指す。



2 各主体の役割

No	名 称	役 割
1	柏市	● 国からの受託，モデル構築に関する成果や課題の報告，他地域への成果展開支援 ● プロジェクトのマネジメント，市施策との連携や関係課との調整
2	女性の出産・育児・就業支援システム運営委員会	● 本事業の企画，柏の葉地区を含む北部地域の住民・勤務者・来訪者に対する広報，関係機関との各種調整 ● システムの運営
3	アドバイザー委員会	● かしわファミリー・サポート・センターを運営する柏市社会福祉協議会，女性の活動を支援する NPO 団体，その他女性支援を行う民間事業者，有識者，支援者等から構成 ● 運営委員会の立ち上げ支援，ICT 利活用のあり方，運用体制のあり方の助言
4	システム設計・開発事業者	● システム設計・開発 ● 実証期間中のシステム運用，問い合わせ対応
5	機器類リース・レンタル・販売事業者	● システムの構築・運営に必要となる機器類をリース・レンタル・販売する事業者
6	運営委員会支援，各種調査等実施事業者	● 北部地域を中心とする運営委員会を補佐し本事業全体のコーディネートを実施 ● システム設計に必要な各種調査やシステム運営後の効果測定
7	運営の担い手 (北部住民グループ，社会福祉協議会，小学校)	● 北部地域の住民グループ，かしわファミリー・サポート・センターを運営する柏市社会福祉協議会，柏市内の小学校が，モデル事業実施時にサービス実現に関する支援を実施

事業実施進行表

実施内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H22 1月	2月	3月
アドバイザー 委員会の開催	→ 立ち上げ		△ サービス内容とシステム要件の検討			△ モデル事業運営、来年度以降の運営方針について			△ 実証実験の成果確認
運営委員会の開催	→ 立ち上げ		△ サービス内容、システムの検討			△ モデル事業運営、来年度以降の運営方針について		△ 実証実験運営方法の確認	
事業の構築		→ ニーズ把握とサービス内容の検討	→ アンケート・ヒアリングの実施	→ モデル事業計画の検討・策定	→ 利用者／協力者モニター募集，説明会の実施	→ 実験準備リハーサル		→ 成果確認	
業務支援コンサル事業者選定に係る公募	→								
システム構成の検討・決定			→ システム要件の検討						
システム開発事業者選定に係る公募				→ 公募					
システム設計					→ システム設計				
システム稼働								→ 実証実験	
報告書作成									→ 報告書作成

その他

本事業により構築したウェブサイト又は本事業を掲載したウェブサイト

[1] <https://www.kashiwa-aiai.jp/> [かしわ あいあい広場]

平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 システム設計書

実施団体名：千葉県柏市

事業名称：女性の出産・育児・就業支援システム

1 概要

次のサービスを実現するシステムの設計・開発。

- (1) ポータルサイト「かしわ あいあい広場」：地域の子育て支援サービスやイベント情報の提供、会員のクチコミ情報交換やコミュニティ形成を実現するサービス。
- (2) 送迎・あずかり支援サービス：働く保護者と子育てサポーターをインターネットでつなぎ、子どもの送迎・あずかりを市民同士で支えるサービス。
- (3) デジタル連絡帳・伝言板サービス：学校、保護者、子どもをインターネットでつなぎ、安全で便利な双方向コミュニケーションを実現するサービス。
- (4) 子どもの見守りサービス：学区内に計20ヵ所設置したICタグ読取装置によって、子どもの登下校時の通過情報を保護者のパソコンまたは携帯電話にメール通知するサービス。

2 運用結果

○メンテナンスとシステム改修

- 2010年2月19日 メール投稿機能の追加実施
- 2010年2月25日 画像アップロード機能の対応の実施
- 2010年3月11日 「システム統計（日付指定）」管理機能の対応実施

○システム障害対応

- 2010年2月25日 携帯電話接続障害の発生に対し、設定の改修を実施

3 課題・改修の必要性

利用者の使いやすさや分かりやすさ、魅力を向上させる観点、及びシステム運用者の負担軽減の観点から次のような課題・改修が有効と考えられる。

- (1) ポータルサイト「かしわ あいあい広場」：柏市子育てサイトはぐはぐ柏との統合・連携とそれに伴う各種改良、携帯サイトの改良、会員登録機能の改善、検索機能の強化等
- (2) 送迎・あずかり支援サービス：誰でも使えるようインターフェースの改善や機能の簡易化等
- (3) デジタル連絡帳・伝言板サービス：有線LANへの対応、インターフェースの改善等
- (4) 子どもの見守りサービス：本システムの機能や装置の設置箇所数などの最適化（削減）の検討

4 その他

別添補足資料のとおり

2062 柏市システム補足 01（システム構成）.pdf

2062 柏市システム補足 02（引き継ぎ）.pdf

2062 柏市システム補足 03（問い合わせ）.pdf